

射水市総合計画審議会 第3回未来創造部会 会議録

○日 時 令和4年5月17日(月) 午前10時～11時40分

○場 所 射水市役所本庁舎2階201、202会議室

○出席者

(委員)

明石あおい、朝倉あゆみ、飯山進(リモート参加)、荻浦明希子、樋上正之、二川由利子、松本三千人、宮城克文、宮田妙子、宮田雅人

欠席委員：松本吉晴

(当局)

現地参加

小塚企画管理部長、北財務管理部長、小見福祉保健部長、桜川議会事務局長、長谷川市民生活部長、久々江教育委員会事務局長、轟福祉保健部次長、中川財務管理部次長、塩谷教育委員会事務局次長、六渡教育委員会事務局次長、荒谷議会事務局次長、松下市民生活部次長、森田未来創造課長、菅原政策推進課長

リモート参加

宮本産業経済部長、福井産業経済部次長、坂井財政課長、佐藤資産経営課長、高橋課税課長、鎧塚収納対策課長、齊木市民活躍・文化課長、大居子育て支援課長、野崎検査監、星野学校教育課長

1 開会

2 部会長あいさつ

3 議事

(1) 基本構想素案について

(2) 基本計画骨子案について

政策推進課長	資料1～2に基づき説明
部会長	素案の構成や関係人口の取扱い等について意見をいただきたい。
委員 A	構成について、P16 の一番上の将来の姿が1つの括りになっているが、P7は2項目に分かれている。2つに分け、1つ目は第1章、第2章、2つ目は第3章、第4章につながっていくのではないかな。 ライフステージでは「射水で『生まれる』あなたへ」となっているが、それにつながる主要施策は親目線になっており、違和感がある。 関係人口の目標設定の在り方については、〇〇人口としているが、誘致人口、友達人口、セカンド・ホームタウン人口、デュアラー人口など、二重生活で利用してもらえる人を関係人口として受け入れ、地域の活性化につなげるイメージとしたものがよいのではないかな。 基本計画骨子案では、ヤングケアラーやスマートスクール、リカレント教育などカタカナ語が多く、カッコ書きや下段に注釈があるといい。アンコンシャス・バイアスのみカッコ書きが付いている。 骨子案 P24、5-1の現状と課題の4つ目「障がい者、家族の高齢化」は、障がい者と家族の高齢化なのか、障がい者とその家族の高齢化なのか、ニュアンスがわか

	りにくい。
事務局	指摘のあった P16 の将来の姿について、二つを分ける。1つ目の将来の姿が、親目線、2つ目の将来の姿が子ども目線となっている。それに続く基本目標と主要施策については、このままとさせていただきたい。 カタカナ語については、なるべく使わないようにしたいと考えているが、やむを得ず使う場合には注釈をつけることとする。
福祉保健部長	5 - 1 の現状と課題の 4 つ目については、障がい者と障がい者の家族、両方の高齢化の課題があると捉えている。障がい者が高齢化している中でのサービス供給の課題、家族が高齢化する中での親亡き後の対応の検討の必要が出てきている。
部会長	「射水で『生まれる』あなたへ」という表現についてはどうか。
委員 A	親目線の施策となっていることを踏まえると、「生みたい」や「生む」なども考えたが、表現がダイレクトすぎるとも感じている。
事務局	ライフステージの表現については、あくまでも一人の主観的な人生を表現しており、それで統一したいと考えている。また、「生む」とした場合、疎外感を覚える人がいるのではないかと危惧している。
委員 B	ライフステージと関係人口の整理において、前回の案から「あなたへ」の記載がなくなった。ライフステージの表現でも「あなたへ」がなくてもいいのではないか。そのほうが余計な誤解を与えないと思う。
委員 C	事務局から「一人の主体として」という説明があった。これを聞いて私は納得した。
委員 D	「生まれる」人に「あなたへ」と言うのであれば、やはり、生まれた人、もしくはもうすぐ生まれる人に言うべきであり、家族を築くところから始まるのに違和感を覚える。「新しい命の誕生を応援する」から始めて、「新しい家族を築く」ことは、自分らしく暮らしていく中で選んでいくことではないか。 ライフステージに「あなたへ」を入れたのは市の挑戦と受け取っている。疎外感を受ける人もいるだろうが、自身のこととして受け取る人もいるはずであり、取ってしまえばいい、というのはどうかと思う。
部会長	皆さんの意見をこの場でまとめるのは難しい。最終的にはこちらに任せてほしい。 「〇〇人口」についてはいかがか。
委員 E	「友好人口」、「興味人口」など、みなさんに届きやすい簡単な表現がよいのではないか。 「生まれる」に関して、子どもの成長には、親の学びや日々の生活が欠かせないため、親目線の文言が上の方にきてしまうのは、しかたないのでは、と思う。
委員 F	関係人口を増やすためには、もう少しゆるい、居心地のいいワードも入れた方がよい。地域コミュニティに強制的な感じを持つ人もいる。キャッチフレーズなどには、ゆるやかな、多様性のある、誰でも参加しやすいワードも必要だと感じた。
部会長	いろいろと意見をいただいたが、基本構想素案の全体的なところは、これで進めさせていただいてよいか。 (異議なし)
委員 C	「射水市の概況部分」を後ろに持っていったのは賛成だが、「計画策定の留意点」は「まちづくりの主要課題」とで重なる部分があるので、整理してはどうか。 各部の章の数にばらつきがある。もう少しバランスに工夫が必要ではないか。 第 1 部の第 1 章は「新しい家族を築く」とあるが、「築く」といった場合、その対象は何がいいのか。第 4 章では「寄り添い」とあり、漢字が使われているが、第

	5 部は「寄りそい」と平仮名となっている。特別な理由があるのか。 前回と比べて、第 3 部と第 4 部が入れ替わっている。私もその方が良いと思うが、何か意味があるのか。 第 7 部第 3 章「恵まれた自然環境と保全と、地域の伝統文化の継承を支援する」と変更されているが、前回の「恵まれた自然環境を保全し、地域の伝統文化の継承を支援する」のままでいいのではないか。 漢字と平仮名の表記の仕方が統一されていないところが各所にみられる。しっかり見ていただきたい。句読点の打ち方も気になるところがある。 第 7 部は、「人と人 今と未来をつなぐ」と「人と人 今と未来とつなぐ」のどちらが正しいのか。
事務局	第 1 編の「まちづくりの主要課題」と射水市の概要の「計画策定の留意点」については、統合もしくは整理していく。 第 3 編第 1 部第 1 章の「新しい家族を築く」については、施策に結婚支援を含めていることから、このような表現にした。 各章のバランスについては、課題が多いところ、力を入れて取り組んでいるところはボリュームが大きくなるが、第 1 部の第 1 章と第 2 章を一つにするなどバランスを意識して調整したい。 第 5 部の「寄りそい」の「そい」は、「添い」、「沿い」など読む人によって様々なイメージがあると考え、あえて平仮名にしている。 文章の中での字句の統一感、事務局にて改めて確認する。 第 3 部と第 4 部が入れ替わっている理由について、第 3 部は、インフラ関連であり、すべての市民が共通で関わるため、上に持ってきた。第 4 部は、人権に関わる部分であり、第 5 部の福祉・医療関連へのつながりを考慮した。 第 7 部のタイトルは、「人と人 今と未来をつなぐ」が正しい。 第 7 部第 3 章「恵まれた自然環境と保全と、地域の伝統文化の継承を支援する」に対する指摘は、改めて検討する。
委員 G	計画が出来上がった際の冊子は、どういう人たちを対象に配付するのか、概要版だけを配るのか。
事務局	配付については未定である。全戸配布までは難しいが、なるべく幅広く多くの人に見てもらいたい。市のホームページには掲載する。
委員 G	現行の計画のようなページ数の計画書を、果たしてどれだけの市民が見てくれるのか。基本構想と基本計画では重複している部分も多く、精査して薄いものにするなど工夫が必要ではないか。
政策推進課長	ポイントを取りまとめた概要版の作成も考えている。
部会長	基本計画骨子案について意見はあるか。
委員 C	基本計画の構成について、流れとしては、最初に「現状と課題」があって、その後「施策の方向性」、「成果指標」が来るのではないか。 P15 の「現状と課題」の 2 つ目に「国による女性活躍の推進」とある。現状はそうかもしれないが、課題に軸足を置くとすれば、表現が消極的、受け身的ではないか。
部会長	表現については、今後揉んで検討していく必要がある。
委員 B	ライフステージで整理しているが、一つの行政課題に対して複数のライフステージにまたがるものも多く、計画の中にどのように落としていくのか。時間をかけて検討していく必要がある。
委員 D	女性活躍については、職種によってライフステージに大きく影響する人とそうでない人もいる。企業側の意識が変わっていかないと、安心して産み育てることは

きない。働き方改革のところに、産休育休やポジションについて入れられたらいい。一番大事なのはファーストキャリア、初めて就職した会社の意識であり、会社の教育は重要だと考える。

「〇〇人口 100 万人」について、なぜ 100 万人なのか。また、このフレーズはどこかで聞いたことがあるが、その一部を変えるだけで、市民に訴求する力があるのか疑問である。人数についても、達成するための目標であるべきであり、ざっくりと決めてしまわず、理解できるストーリーにしてほしい。

また、人数を目標にしているが、たった一人であっても地域を変える力がある。一人ひとりのライフステージに着目し、「あなたへ」としているところに、ざっくりとした人数の目標を掲げるべきなのか。

部会長

県が「幸せ人口 1000 万人」としており、それに倣った部分がある。100 万人については、事務局の説明では、市民一人につき 1 年間で 1 人、10 年間で 10 人プラスアルファということである。

他の部会でも議論されるところであり、それらを踏まえてまとめていくことになる。

事務局

関係人口に関して目標に近いものを記載すべきかどうかを検討する余地がある。ただ、重要な視点として関係人口がクローズアップされる中で、ざっくりとした目安、夢でも示すべきである、との考えから記載している。示し方について意見をいただきたい。

委員 C

今朝の新聞に、県内への移住者が最多の 823 人との記事があった。そのうち、南砺市が 119 人であり、背景には相当な努力があるのではないかと推察している。また、京都では、「泣いてもかましまへん！」と銘打って、子育てしやすい環境づくりに取り組んでいるとの報道も聞いた。大変参考になる。行政だけでなく、市民一人ひとりにどう意識を持ってもらうかという視点が計画には欠かせないと思う。人を動かすような文章表現に努めてほしい。

副部会長

南砺市では、小規模多機能自治に取り組んでいる。射水市でも市民の動きが生まれてくるような総合計画になるといい。

「〇〇人口」については、射水をずっと応援してくれる人、「いみずっと人口」はどうか。

部会長

本日いただいた意見は、全体会での協議資料に反映する。資料への反映については事務局と部会長、副部会長に一任してほしい。

（異議なし）

4 その他

事務局

次回全体会を 5 月 31 日（火）午後 7 時から、本庁舎 3 階で開催を予定している。意見提出は今週中にいただきたい。次回専門部会は 7 月下旬を考えている。

5 閉会

以上

射水市総合計画審議会 第3回安全安心部会 会議録（要旨）

○日 時 令和4年5月17日（火） 午後7時～8時30分

○場 所 射水市役所本庁舎2階201、202会議室

○出席者

（委員）

大坪清治、加治幸大、門田晋、鈴木真由美、高市洋介（リモート参加）、辻ゆかり、釣谷隆行

オブザーバー：大西宏治

欠席委員：上田秀永、川原辰弥、木田和典

（当局）

現地参加

長谷川市民生活部長、北財務管理部長、小見福祉保健部長、小川財務管理部次長、松下市民生活部次長、轟福祉保健部次長、京角市民生活部副参事、明野生活安全課長、山口地域福祉課長、竹内社会福祉課長、菓子介護保険課長、明保険年金課長、高岡保健センター所長、網防災危機管理班長、菅原政策推進課長

リモート参加

島多市民病院長、中野市民病院事務局長、糸岡市民病院事務局次長、下村市民病院医事課長、竹内消防長、土居消防本部次長、大隅消防本部総務課長、小路消防本部防災課長

1 開会

2 部会長あいさつ

3 議事

（1）基本構想素案について

（2）基本計画骨子案について

政策推進課長	資料1-1～2に基づき説明
部会長	資料1-1基本構想（素案）について意見をいただきたい。
委員A	射水市に住みたいと思ってもらうには、裏付けとして危機管理とセキュリティが必要だ。主要課題の課題3に情報モラル・セキュリティ対応とあるが、情報だけではなく、すべての面でのセキュリティ対応が必要だと思う。また、課題7に危機管理の視点が入っていないので、「危機管理対応力を高める」などの文言を追加してほしい。
財務管理部長	国土強靱化計画を策定しており、その中に危機管理が入っている。そうしたことも踏まえ、総合計画の中でどのように表現するか検討したい。
部会長	15ページの「共通の視点」は、全体を通じたこととしてこの内容でよいと思うが、この観点が各基本目標や施策のどの部分に入っているのかははっきりしない。すべてに入れる必要はないが大事なところには何かしらの形で入れた方がよいと思う。 前回、他部会で基本方針の「稼げる産業」という表現が直接的すぎるのでは、という意見があったかと思うが。

事務局	「稼ぐ」ということが産業の持続可能性につながると考え、あえて「稼げる産業」という表現にしている。違和感があるということであれば、改めて意見をいただいた上で検討したい。
部会長	資料２前期基本計画（骨子案）について意見をいただきたい。
委員 A	経済の起爆剤として、ゆるキャラの経済効果が大きいという記事を読んだ。射水市には「ムズムズくん」があるが、ゆるキャラの活用などについて骨子案のどこかに記載されているか。
事務局	直接的にゆるキャラという表現はしていないが、28 ページに「シティプロモーションの推進」に関する記載があり、この中での取組になる。「多様なメディアを活用した情報発信」の多様なメディアの一種が、ゆるキャラや「いみず雫（Vチューバー）」に当たる。具体的なゆるキャラの活用などは個別計画などで示すことになる。
副部会長	基本構想の構成について、やはり「稼げる産業」は表現がきついと思う。例えば「活力ある産業」など変更してはどうか。 また、骨子案の基本方針５にある「５－１住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整える」の主要施策の「３ 生きがい・居場所づくり、活躍の場の創出」だけ枝葉の項目がないことが気になる。ここは障がいのある人や引きこもりの方たちなどの一番大きな課題だと思う。
福祉保健部長	「３ 生きがい・居場所づくり、活躍の場の創出」については、引きこもりの方や生活困窮者だけではなく、誰しにも「サードプレイス」が必要という考え方である。地域の中で共生していけるよう、子どもや障がいのある人、高齢者など、様々な年代を対象にした場所をどうつくるかということになる。
副部会長	そうすると、福祉に関することがすべて共通項になってしまうと思う。もう少し特化してもよいのかなと思った。特に対象となる人たちを絞って記載してもよいと思つての発言だが、逆にここには馴染まないということであれば仕方ないかなと思う。引きこもりの方や障がいのある人など色々な人たちが安心して生活できる、社会に出ていく空間づくりとして居場所づくりが出てきたと思っているので、そのあたり一工夫あってもよいと思う。
委員 B	共通の視点の中にインクルージョンの推進がある。これをどのように企業に落とし込むかが大事だと思う。高齢者や障がいのある人など色々な人を企業がどう活かしていくか考える上で、行政から指針のようなものを示してほしい。 ニューノーマルの適応について、特に観光産業はアフターコロナではなくウィズコロナでやっていくしかないと思っている。その中で従業員の個性をどう活かすかが大切だと思うので、射水市がインクルージョンの推進を具体的にどのように考えているのかお聞きしたい。
事務局	総合計画であるため、「３ 生きがい・居場所づくり、活躍の場の創出」については、細かい個別事業の内容の記載は避けて、方向性を示すような表現にしている。表現、見せ方について検討しながら進めていきたい。 インクルージョンやニューノーマルは、現在は「共通の視点」において箇条書きにしているが、内容の説明や共通の視点につながる取組について、今後追記していきたいと考えている。働き方については、骨子案の「２－３働く選択肢を増やし、働きがいのある環境を整える」などに散りばめられている。
委員 C	骨子案の「１－２新しい命の誕生を応援する」について、生む女性側への支援が主になっているが、男性の育休など、パートナーと一緒に育てることがイメージできる支援があるとよいと思う。そうならば高校生への指導・教材などにも活用できると思う。
部会長	今の内容は「２－３働く選択肢を増やし、働きがいのある環境を整える」の共働き

	世帯への対応などとも関連すると思う。
事務局	「２-３働く選択肢を増やし、働きがいのある環境を整える」にワークライフバランスの実現に向けた職場環境の整備推進」と記載しており、このあたりが男性の育休取得などに関係する施策になる。それぞれの施策がそれぞれに関連しているため、事業の関連性が分かるような表現の仕方を検討したい。
委員Ｄ	「７-３恵まれた自然環境の保全と、地域の伝統文化の継承を支援する」にあるカーボンニュートラルについて、各省庁で具体的な目標・方向性を示しており、射水市は今年度ビジョンを策定すると聞いているので、この総合計画の始期までにビジョンが策定されるのであれば、総合計画に記載してはどうか。 目標人口 86,000 人の根拠はあるか。
事務局	射水市人口ビジョンに基づいて設定している。
委員Ｄ	現在の人口は何人になるか。
市民生活部長	４月時点で住民票がある方は、91,500 人弱となっている。
委員Ｄ	市民目線だと人口が増えていると感じる。すでに人口ビジョンの数字とズレがある。なぜ人口が増えているのかなどを分析して施策に役立てることが目標を上回ることにつながると思う。今後 10 年を見据えた計画が策定時点でズレがあることに違和感がある。
事務局	人口には住民基本台帳による数字と国勢調査による数字があり、人口ビジョンは国勢調査に基づいている。その分ズレはある。
委員Ａ	骨子案の「３-２住みやすく潤いのある生活環境を整える」に空き家対策の推進とあるが、「空き地」に関する記載がないことが気になった。空き地も含まれているのか。含まれていないのであれば、空き地や所有者不明土地の有効活用についても記載されるとよいと思う。
事務局	担当部局に確認する。
委員Ｂ	妊娠している方から、産気づいた時にタクシーを利用できるかという問い合わせがある。救急車の利用に抵抗があるからだと思う。妊娠した方の不安を取り除く取組があるとよいと思う。
福祉保健部長	骨子案の「１-２新しい命の誕生を応援する」の「２妊娠・出産にかかる経済的支援の充実」あたりに関わってくることになると思う。産気づいた時の不安が強い方がいることが分かったので、どう支援していくか検討したい。
副部長	資料１-１の「２共通の視点」のまとめ方のイメージをお聞きしたい。
事務局	各項目に、それにつながる主要施策を掲載するイメージである。
副部長	共通の視点の４つの項目に射水市らしさは出てくるのか。
事務局	これが射水市らしさだということを計画内で強調するイメージは持っていないが、射水市が重要だと思っている項目が「共通の視点」に現れている。表現の中からにじみ出てくるものだと思っている。
委員Ｃ	完成したものを高校生など子どもが見た時に、インクルージョンなど子どもが知らない表現があると思う。そういった文言の説明はどこかに記載されるのか。
事務局	なるべく伝わりにくい文言は使わないよう心掛けているが、使用する場合は欄外に注釈を設けるなど分かりやすくしていきたい。
委員Ｅ	資料１-１の「４まちづくりの主要課題」にあるカーボンニュートラルの実現に向けた取組の推進について、この前提になっている地球温暖化などの気候変動に対応

	したまちづくりを進めていく必要があると思う。 また、人口についても同様で、人口減少に対応した相応のコンパクトなまちづくりを目指していかないといけないと思う。そういったことを基本構想に方向性として挙げないといけないと思う。
市民生活部長	カーボンニュートラル等については、射水市としても重要だと考えており、再生可能エネルギーや地球温暖化など方向性を明確にしながら、実施計画とすり合わせて進めていきたいと考えている。
委員 F	骨子案の「基本方針 1 新しい家族と命育む未来」をみると、子どもを「育てる」ことが中心になっていて、「育つ」や「育ち」のサポートについてほとんど記載されていないと感じる。射水市は子ども条例もあるため、そういった子どもの育ちについて入ってくるとよいと思う。父親の子育て参画について記載がないことも同様で、視点の幅広さがないので、少しでも記載されているとよいと思う。
部会長	単身で暮らしている若者を、射水市としてどのように盛り上げていくか。そういった方々が活躍する場の視点がどこかにあるとよいと思う。色々なスタイルの方が過ごしていけるという視点があるとよいと思う。
部会長	本日いただいた意見は、全体会での協議資料に反映する。資料への反映については事務局と部会長、副部会長に一任してほしい。 (異議なし)
部会長	本日発言できなかったことや後日気付いたことなど意見がある場合は、机上の様式等を利用して事務局に提出していただきたい。
4 その他 事務局	次回全体会を5月31日(火)午後7時から、本庁舎3階で開催を予定している。意見提出は今週中にいただきたい。次回専門部会は7月下旬を考えている。
5 閉会	

以上

射水市総合計画審議会 第4回活力元気部会 会議録（要旨）

○日 時 令和4年5月18日（火） 午前10時～11時30分

○場 所 射水市役所本庁舎2階会議室

○出席者

（委員）

岩口久梨果、牛塚松男、大西宏治（リモート参加）、尾山春枝、古池清一、笹川征一、塚本清、津田奈由子、牧田和樹、森由佳子、亙建邦

オブザーバー：鈴木真由美（リモート参加）

欠席委員：なし

（当局）

宮本産業経済部長、吉田都市整備部長、夏野上下水道部長、南上下水道部次長、盛光商工企業立地課長、久々江観光・定住課長、遠藤農林水産課長、橋本都市計画課長、山下道路課長、酒井建築住宅課長、宮本河川・港湾課長、堀上下水道業務課長、前田上水道工務課長、森下水道工務課長、菅原政策推進課長

1 開会

2 部会長あいさつ

3 議事

（1）全体構成について

政策推進課長	資料1-1～2に基づき説明
部会長	まず、基本構想素案の全体的な構成について質問、意見はないか。 （特になし）
部会長	基本方針ごとに内容を協議したい。はじめに基本方針1について意見をいただきたい。
委員A	1-1の基本目標のタイトルが「新しい家族を築く」となっている。「家庭」を築くではないか。
事務局	ご指摘のとおりである。また、各部のバランスをとるため、第1章と第2章の統合を検討している。
部会長	続いて、基本方針2についてご意見をいただきたい。
委員B	将来の姿の5として「稼ぐ力が高まり」とある。当然、稼がないといけないのだが、それを前面に出すのはいかがか。産業を市内で循環させるような内容を盛り込めたらいい。
部会長	「稼げる産業、誇れる仕事」について、稼ぐことは悪いことではないが、「誇れる産業、価値ある仕事」でどうか。また、将来の姿は、「稼ぐ力が高まり」ではなく、「付加価値が高まり」でどうか。
副部会長	将来の姿の6に「ライフスタイルや価値観」とあるが、「価値観」にピンとくるだろうか。基本目標につながりやすい言葉に変更するか、もしくは不要ではない

	か。
事務局	文言については検討する。
部会長	続いて、基本方針 3 についてご意見をいただきたい。
委員 C	将来の姿 7 について、大事なのは人と人とのつながり、助け合いであり、「助け合い」というわかりやすい言葉を入れたらどうか。
事務局	助け合いの要素については、基本方針 5 の中で、様々な分野での支え合いの取組が入ってくる。
部会長	続いて、基本方針 4 についてご意見をいただきたい。 (意見なし)
部会長	続いて、基本方針 5 についてご意見をいただきたい。
部会長	ライフステージごとに分けている中で、住んでいてコミュニティを形成する上で一番の肝であると思う。人が寄り添って支え合っているコミュニティが一番心地いい。その観点で見ていただきたい。
委員 D	一人では生きられない。周りの人に助けられている。一番大事なところである。
委員 E	助け合うことが大事なので、「寄りそい 支え助け合う」としたらどうか。
部会長	続いて、基本方針 6 についてご意見をいただきたい。
委員 F	将来の姿 10 について、観光振興、観光資源に着目しているが、射水市自体を見つけて磨くので、発掘する対象は観光に限らず、射水市すべての地域資源ではないか。
事務局	観光のみならず、地元の魅力を住民自身が発見する視点が入っているべきであり、「地域資源を発掘」とするなど、文言を修正する。
部会長	地域資源というのは、どうしたら地域資源になるのか。
委員 F	暮らしている人も魅力的に感じるものではないか。
部会長	続いて、基本方針 7 についてご意見をいただきたい。
委員 C	つなぐものとして伝統文化も入っている。「昔、今と未来」というように、昔や過去についての文言を入れた方がよいのではないか。
事務局	この表現にした意図として、「今」という中には、今につながる過去や歴史があり、今あるものを未来につなげるといったニュアンスでこの文言にしている。
委員 G	過去という表現もいいが、既に伝統文化の継承が示されており、それは過去からつながって今あるものである。
部会長	全体を通して意見はあるか。
委員 A	基本方針 7 7 - 3 の中に主要施策 3、4 が入っていることに違和感がある。これらはエネルギー政策であり、持続可能な都市づくりというような政策に位置付けられるのではないか。
事務局	前回は意見をいただき事務局にて検討したが、なるべく環境分野の取組をまとめたいという考えがある。また、この取組の趣旨、背景として、持続可能性、次代につなげるという視点が強く、7 - 3 に位置付けるのが適切ではないかと判断した。
部会長	主要施策 5 の「文化財の保存・活用」と環境を一緒にしているため、違和感があるのではないか。

委員 A	主要施策 3 と 4 は、基本目標のタイトルからすると間違いなく違和感がある。基本方針 3 など他の基本方針にも入りそう。検討いただきたい。
委員 E	将来の姿 13 で、「信頼される行政運営により、市民が豊かさを感じている」とあるが、本来であれば、市民が豊かさを感じるように行政が取り組むということではないか。
委員 B	効率的・効果的な行政運営の中に DX の推進が位置付けられており、行政のためのものとなっている。本来であれば、市民のためにあるべきものでないか。
部会長	DX は方法であり、それによって行政効率が高まり、ひいては市民のためになるというストーリーかと思う。それがもう少し明確になればいい。
部会長	まちの将来像の〇〇人口に対するアイデアをいただきたい。キャッチフレーズとも関係してくる。
委員 H	「活躍人口 100 万人」はどうか。
委員 I	「エモ人口 100 万人」はいかがか。エモはエモーショナルのエモで、若い人たちがよく「エモい」と使っている。
委員 A	「つながる人口」はどうか。
委員 C	他の地域の人で「射水」を読める人があまりいない。そういうところを利用できないか。
部会長	個人的には「ワクワク人口」が浮かんでいる。イミズムズムズはどうなっているのか。「ムズムズ人口」はどうか。
観光・定住課長	「ムズムズ」は、なにかやりたくてムズムズしている、活気にあふれている状況をいう。
部会長	「ムズムズ人口」はよいのではないか。
事務局	昨日の部会でも、会議後の意見提出で「ムズムズ人口」が出た。目標は、ムズムズにちなんで 6262 万人という意見をいただいた。ほかには、射水をずっと応援するという意味で「いみずっと人口」という意見が出された。
委員 C	方言で「きのどくな人口」はどうか。
委員 J	思い浮かんでいたのは「応援人口」や「関心人口」だが、今、議論されていた「ムズムズ人口」のほうが、射水らしさが出ていてよいと思う。
委員 F	人口 100 万人ではなく、射水なので 132 万人はどうか。また、〇〇人口と言った時、すぐにわかってしまうものではなく、何かひっかかるようなもののほうがよい。射水と関係があり、すぐにわからず、何か引っかけかのような言葉があるといいが、思いつかない。
部会長	132 万人だと現実的な数値である。
委員 A	共通の視点、4 について、カッコの中を逆にして、DX の推進を頭に持ってきたらどうか。
部会長	DX は手法であるため、視点とは異なる。何のために DX を用いるのが視点になるのではないか。
委員 A	他の項目と比べると、タイトルが長い。
部会長	「デジタル技術の活用による」の部分を「DX の活用による」としたらどうか。デジタルトランスフォームすることで行政が効率化するわけである。

委員 A	それと市民生活も変わってくる。そのほうがよい。
委員 G	将来の姿 5 の説明文について、地域資源とあるが、観光と言い方が似ており、ここは「地域の商工農林水産業の資源」と具体的に書いたほうがよい。また、最後が「次代に受け継がれるまちづくりを進める」となっているが、受け継がれたまちづくりというのは意味が分かりにくい。
	将来の姿 6 の説明文については、基本目標の 11 番だけを言っている。10 番の方向性についてわかるようにしたほうがよい。
副部長	各基本方針について、いろいろなところに同じ文言が使われているのは仕方ないが、それぞれの将来の姿が目指す着眼点がもう少しわかりやすい形で書かれているといい。特に「住みたい 住み続けたい」と「寄りそい 支え合う」のところが気になる。
部長	いただいた意見は、次回の全体会資料に反映させていくが、具体的な調整等は部長、副部長に任せていただきたい。また、本日発言できなかった意見があれば、お手元の用紙に記入いただき、事務局に提出いただきたい。

4 その他

事務局	次回全体会を 5 月 31 日（火）午後 7 時から、本庁舎 3 階会議室で開催を予定している。出席予定は今週末までにお知らせいただきたい。意見提出は今週中に提出いただきたい。次回専門部会は 7 月下旬ごろに開催予定である。
-----	--

5 閉会

以上